

A-110 北上山系の一山村における婦人の栄養水準と血液性状値の検討(第2報)

—血液性状値と摂取栄養素量との関連について—

岩手県立盛岡短大 ○齋 藤 憲・森 成子・佐々田裕美子

**目的** 前報において述べた栄養水準にひき続き摂取栄養素量と血液値との関連をみる目的で分析調査を行った。なお血圧測定で最高150 mmHg以上または最低90 mmHg以上の者が32.9%もあつたので血圧と摂取栄養素量および血液値との関係も併せて検討した。以下その結果を報告する。

**方法** 対象者は第1報に同じ。採血は栄養調査回収日(昭和52年8月5・6日)の昼食前空腹時に肘静脈より行った。血液の測定は、ヘモグロビン(Hb)、ヘマトクリット(Ht) A/G比、血清鉄、血清たん白、コレステロール(Chol)、トリグリセライド(TG)の7項目について行った。摂取栄養素量と血液値との関係を見るにあつて、Hb12.0g/dl以下、Ht36.0%以下、血清鉄60mg/dl以下の基準を設定し、一項目でも基準以下の血液値があつた者を貧血者(41.4%)とみなし、非貧血者との比較を行った。また、血圧と血液値・摂取栄養素量との関係を見るにあつては、最高150 mmHg、最低90 mmHg以上を高血圧者とみなし、正常血圧者との比較を試みた。

**結果** 血液の分析値は、Hb $12.7 \pm 1.4$ g/dl, Ht $39.2 \pm 2.6$ %, A/G比 $1.4 \pm 0.5$ , 血清鉄 $84.5 \pm 30.4$ mg/dl, 血清たん白 $7.2 \pm 0.6$ g/dl, Chol $167.5 \pm 33.0$ mg/dl, TG $92.8 \pm 63.1$ mg/dlを示した。これらの平均血液値はほぼ正常の範囲内にあつた。つぎに貧血・非貧血者別に比較してみると、血液値ではTGで貧血者に少ない傾向がみられ、摂取栄養素量では特に差はなかつた。血圧別の血液値・摂取栄養素量を見ると、TGで高血圧者に危険率10%が多い傾向を示したほかは特に差はみられなかつた。また年代別についても検討を試みた。